

# **ANALISIS SETSUBIGO PADA KANJI ~所(*SHO*), ~場(*JYOU*), ~地(*CHI*), ~室(*SHITSU*), ~館(*KAN*) YANG BERMAKNA TEMPAT**

**Reski Nur Fikriyyah**

**43131.52015.0104**

## **ABSTRAKSI**

Fokus penelitian ini adalah penggunaan sufiks Bahasa Jepang. Sufiks adalah imbuhan yang dilekatkan di akhir kata. Tujuan penelitian ini yaitu mendeskripsikan jenis dan makna kata benda yang mengalami proses morfologis dan semantic dengan setsubigo ~所(*SHO*), ~場(*JYOU*), ~地(*CHI*), ~室(*SHITSU*), ~館(*KAN*). Adapun dari kelima setsubigo tersebut terdapat kasus yang menarik untuk diteliti, yaitu penggunaan setsubigo yang berbeda namun mempunyai persamaan makna sebagai penanda “tempat”. Metode penelitian yang menjadi acuan adalah kualitatif deskriptif, yang mendeskripsikan bentuk dan makna kata benda yang melekat dengan setsubigo ~所(*SHO*), ~場(*JYOU*), ~地(*CHI*), ~室(*SHITSU*), ~館(*KAN*). Objek dari penelitian ini adalah NHK Japanese News, Asahi Shimbun Digital, Jakarta Shimbun Digital, dan [www.yorei.jp](http://www.yorei.jp). Hasil penelitian ini menunjukkan 52 data. Data yang menggunakan setsubigo pada kanji ~所(*SHO*) 12 data, ~場(*JYOU*) 10 data, ~地(*CHI*) 10 data, ~室(*SHITSU*) 10 data, ~館(*KAN*) 10 data, makna setsubigo ini menyatakan tempat. Selanjutnya hasil penelitian ini diharapkan dapat menjadi referensi bagi para pemelajar Bahasa Jepang yang ingin menggunakan setsubigo dalam kalimat Bahasa Jepang.

Kata Kunci : Setsubigo, Morfologi, Semantik

日本語における語形成にある漢字の接尾語 「~所」 「~場」  
「~地」 「~室」 「~館」 の分析

**RESKI NUR FIKRIYYAH**

**43131.52015.0104**

日本語学

**STBA JIA**

**2019**

要旨

本研究の問題点は日本語の漢字の接尾語の使用である。接尾語というのはある言葉のあとに付けて、意味を付け加えたり、その言葉に新しい働きを与えたりする言葉である。本研究の目的の「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語の形態論と意味論の分析において、この接尾語調査した。なぜかという、この「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語は所のマークとして同じ意味があるからである。特にこれからの形態論と意味論の変化を分析する。この本研究方法は質的記述的研究である。研究対象は、2019年のNHK日本語の新聞アプリケーションとAsahi新聞デジタルとジャカルタ新聞と [www.yorei.jp](http://www.yorei.jp) である。この研究の結果は、「~所」の接尾語は12があり、「~場」の接尾語は10があり、「~地」の接尾語は10があり、「~室」の接尾語は10があり、「~館」の接尾語は10がある。接尾語は場所のマークとして意味である。次に、本研究の結果は接尾語に興味がある人の接尾語を使いたい日本学習者の参考になると期待されている。

キーワード : 接尾語、形態論、意味論。

# 日本語における語形成にある漢字の接尾語 「~所」 「~場」 「~地」 「~室」 「~館」 の分析

レスキ. ヌル

43131.52015.0104

## 第一章

### はじめに

#### A. 背景

言語とは何かを考えてみましょう。言語とは人間同士のコミュニケーションをはかる手段である。

言語は話し言葉書き言葉の間にかなり大きな違いがあり、例えば情報の配信である。話し言葉では情報の配信で人間の道具であり、書き言葉では情報の配信で文字を使う(Sudjianto., 2004, 54).

形態論とは、主に語のを扱う言語学の一分野である(Verhaar, 1992, 8).

意味論とは言語学では、単語や形態素の意味の変遷、意味の記述や相互の関係に関する共時論的研究をさす。

意味学習対象には、単語の意味、単語と単語の意味関係、句の意味、そして文の意味がある。

## B. 問題の設定

景に元髓手本研究の問題は次のようである

1. どのように「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語を日本語で単語形成なのであるか？
2. その「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語を日本語意味何か。
3. 『~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語は互換性のあるか？

## 第二章

### 理論的基礎

話しことばではデス、マス体が使われることばが多いですが、書きことば（特に報道文、論文、論説文）では基本的にデス、マス体は使われるません。また、語彙に関してものような違うがあります。

1. この教室を使う場合は使用届を出してください。(話しことば)
2. 当教室を使用する場合は使用届を提出されたい。(書きことば)

(Iori, 2001, 496)

## A. 意味論

言語には形「音」と意味がある。きのうち後者を研究対象とするのが、意味論である。意味論の中で、特に語の意味を研究する分野を語彙

論 (lexicology) ということがあるが3、より大きな単位である文などの意味をも扱う。

(アークアカデミー、平成13年、33)

意味学習対象には、単語の意味、単語と単語の意味関係、句の意味、そして文の意味がある。

## B. 形態論

自分が考えていることあるいは相手にしてほしいと思っていることを、誰か他の人に伝達する。これが言語使用の主要な目的と言えるだろう。赤信号なのに横断歩道を渡っている子どもに「危ない！」と言う。窓を開けてが降っているのを見て「雨が降ってる」と言う。これらは、やはり何らかの意図を持つ伝達行動なのである。

(アークアカデミー、平成13年、4)

話しことばではデス、マス体が使われることばが多いですが、書きことば（特に報道文、論文、論説文）では基本的にデス、マス体は使われるません。また、語彙に関するものような違いがあります。

1. この教室を使う場合は使用届を出してください。(話しことば)
2. 当教室を使用する場合は使用届を提出されたい。(書きことば)

(Iori, 2001, 496)

### C. 形態素

形態素（けいそ、英：morpheme）とは、言語学の用語で、意味をもつ表現の最小単位。

### D. 形態素

接辞とは単語または単語の中核をなす部分（語基）に付く形式で独立して用いられないものです。日本語には次のような種類の接辞があります。

接頭辞：不安定 . 非公式代 . 大失敗 . 未公開. . .

接尾辞：学生らしい. 食べ方. 湿っぽい. 工事中. 広さ

接頭辞+接尾辞：尊敬語の「お～なる」、謙譲語の「お～する」

(Iori, 2001, 526)

### E. 漢字

## 第三章

### 研究方法論

研究は、特定の目的と有用性でデータを取得する化学的法抱けある。

この研究行う行った手順は次のとおりである。

1. データ収集方法はデータの出典を探している。
2. データを集める。
3. データを分類する。
4. データを分析する。

## 第四章

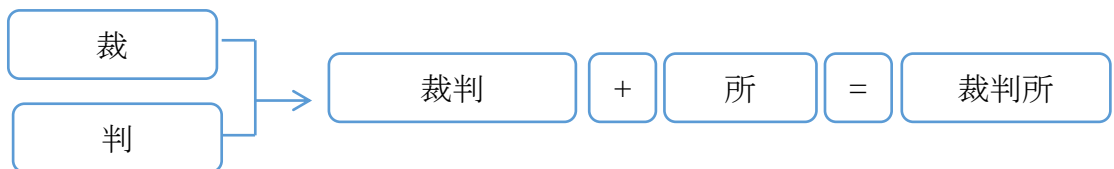
### データの分析

この研究では、著者 52 「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語を日本語を説明し。研究者は集めたデータを第二章の理論で分析する。研究者は 52 「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の接尾語を日本語である。「~所」の接尾語は 12 があり、「~場」の接尾語は 10 があり、「~地」の接尾語は 10 があり、「~室」の接尾語は 10 があり、「~館」の接尾語は 10 がある。

接尾語の漢字：

**裁判所**の人は裁判員になった人のうち 96% がいい経験だったと答えています。

裁判所の言葉は漢字を三つがあり、[裁/さい]と[判/ばん]と[所/しょ]である。裁判所の言葉は形態素を三つがあり、[裁/さい][判/ばん] dan [所/しょ].



裁判	+	所	=	裁判所
----	---	---	---	-----

裁判所授記の意味は、さいばん-レよ【裁判所】【名】（「さいば

んじょ」とも）可法権を行使する国家の機関。わが国には、憲法の設「置

する最高裁判所と、法律の定めるところにより設「置する下級裁判所（高等裁判所・地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所）とがある。裁判官一名もしくは数名の合議体で構成される、裁判事務を行なう機関を意味する。

\*寄笑新聞へ梅亭金鷲>三号「元金は勿論利「足（りそく）も払はず棄（すて）置かば彼必ず公裁と成すべし。その時僕裁判所（サイバンシヨ）へ出て言ふ」\*内地雑居未来之夢^坪内追濫>緒言「軽罪違警罪は本の裁判所（サイバンシヨ）にて之を税し」\*裁判所法-三条・一「裁判所は、日本国憲法に特別の定のある場合を除いて一切の法律上の争訟を裁判し、その他法律において特に定める権限を有する」

## 第五章

### まとめ

日本語の接尾語を日本語データ分析に基づいて、下記の通り結論づけられる。

1. 日本語における接尾語を日本語「~所」「~場」「~地」「~室」「~館」の場所について52の接尾語があり、それぞれの接尾語には、字句の意味と単語形成が異なる。
2. 名刺の種類には52つの接尾語があり。「~所」の接尾語は12があり、「~場」の接尾語は10があり、「~地」の接尾語は10があり、「~室」の接尾語は10があり、「~館」の接尾語は10がある。